



平成29年度(第72回)文化庁芸術祭協賛公演

新国立劇場 開場20周年記念公演

新国立劇場 2017/2018 シーズンオペラ

ヴェルディ

# 椿 姫

*La Traviata*

2017年11月16日(木)~28日(火) 会場:新国立劇場オペラパレス



「椿姫」2015年公演より 撮影:寺司正彦

## パリ社交界に咲いた真実の愛。屈指の人気を誇る悲恋オペラ。

華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と哀しい運命を描いた『椿姫』。「乾杯の歌」をはじめ、ヴィオレッタの超絶技巧のアリア「ああそはかの人か～花から花へ」、ジェルモンのアリア「プロヴァンスの海と陸」など名曲揃いの人気オペラです。ブサールによる美しく洗練されたプロダクションは、誇り高く生き抜いた女性の姿を鮮やかに描き出し、深い感動を誘います。

## 美貌のスター・ソプラノ、ルングが薄幸のヒロインを歌い上げる！

ヴィオレッタ役は、MET、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場などで活躍する正統派ソプラノのルング。

最も得意とするヴィオレッタ役で新国立劇場デビューを飾ります。

アルフレード役は15年のプレミエでも絶賛を博した若手イタリア人テノールのポーリ。

ジェルモン役は13年『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵を好演したモルナールがロールデビューです。

指揮は、カリスマ性溢れる音楽作りで人気のフリッツァが8年ぶりに待望の再登場。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 滝本 香

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709

E-Mail:takimoto\_k1632@nntt.jac.go.jp

平成29年度(第72回)文化庁芸術祭協賛公演  
新国立劇場 開場 20 周年記念公演  
新国立劇場 2017/2018 シーズンオペラ

## ヴェルディ **椿 姫**

全 3 幕<イタリア語上演/字幕付>

初演: 1853 年 3 月 6 日/フェニーチェ劇場(ヴェネツィア)

作曲: ジュゼッペ・ヴェルディ 原作: アレクサンドル・デュマ・フィス 台本: フランチェスコ・マリア・ピアールヴェ

### パリ社交界に咲いた真実の愛。屈指の人気を誇る悲恋オペラ。

華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と哀しい運命を描いた『椿姫』。原作はアレクサンドル・デュマ・フィスが高級娼婦マリー・デュプレシをモデルに書いた戯曲『椿の花を持つ女』で、ヴェルディは同時代に生きる女性をヒロインに捉え、音楽面でも感情表現に重きを置いた斬新なオペラを誕生させました。ガラ・コンサートなどでも歌われることの多い「乾杯の歌」をはじめ、ヴィオレッタが揺れる女心を歌う超絶技巧のアリア「ああそはかの人か～花から花へ」、ジェルモンのアリア「プロヴァンスの海と陸」など全編を通して美しい名曲が散りばめられている人気オペラです。

フランス人演出家のヴァンサン・ブサールは色彩にこだわる洗練された舞台に定評があり、本プロダクションではその美的センスを発揮すると同時に、男性社会に生きる女性の運命をテーマに、鏡を効果的に用いて心象風景を演出、誇り高く生き抜いた女性の姿を鮮やかに描き出し、深い感動を誘います。オペラははじめてという方にもおすすめの公演です。

### 美貌のスター・ソプラノ、ルングが薄幸のヒロインを歌い上げる！

ヴィオレッタ役に迎えたのは、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場などで活躍する正統派ソプラノのイリーナ・ルング。最も得意とするヴィオレッタ役で新国立劇場デビューを飾ります。アルフレード役は、大変注目されている若手イタリア人テノールのアントニオ・ポーリ。15 年の『椿姫』初演時にも同役で出演し好評を博しました。ジェルモン役は 13 年『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵を好演したレヴェンテ・モルナルがロールデビューとなります。

指揮は、カリスマ性溢れる音楽作りで人気のリッカルド・フリッツァが、新国立劇場では 05 年『マクベス』、08 年『アイダ』、09 年『オテロ』以来となる待望の再登場です。

#### ■『椿姫』ものがたり

【第 1 幕】パリ社交界の華である高級娼婦ヴィオレッタは、肺の病で先が長くないことを悟っている。今夜も自宅のサロンでパーティを開催。ガストン子爵が、青年アルフレードを連れてくる。彼は「1 年前にあなたを見て以来ずっと恋している」と真摯にヴィオレッタに告白するのだった。ひとりになったヴィオレッタは、今まで経験したことのない、心からの愛の告白に心ときめくが、たかが愛のために享乐的な人生は捨てられない、と我に返る。

【第 2 幕】アルフレードとの愛を選んだヴィオレッタは、パリ郊外の田舎で彼と静かに暮らしているが、生活費のため全財産を競売にかけようとしていた。それを知ったアルフレードは競売を止めさせようとパリへ向かう。すれ違いでヴィオレッタが帰宅すると、家にはアルフレードの父ジェルモンが。アルフレードの妹の縁談を成立させるため、息子と別れるようジェルモンは頼む。今は彼との愛だけが生きる希望であるヴィオレッタははじめ拒むが承諾し、別れの手紙を書いて家を出る。事情を知らないアルフレードは手紙に愕然とし、父が「一緒に故郷に戻ろう」と慰めても聴く耳をもたない。アルフレードは怒りが収まらず、夜会の大勢の客の前でヴィオレッタを罵倒する。彼女は絶望に打ちのめされる。

【第 3 幕】1 ヶ月後。死の床に伏しているヴィオレッタ。そこに、父ジェルモンからすべてを聞いたアルフレードが来て、許しを乞い、パリを離れて一緒に暮らそうと語る。ヴィオレッタは愛する人に囲まれ息絶える。

## 報道用資料

### <主要キャスト・スタッフプロフィール>

#### 【指揮】リッカルド・フリッツァ

Riccardo FRIZZA

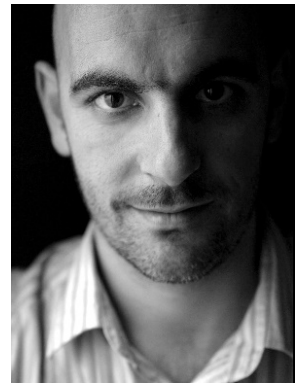
ミラノで学ぶ。ミラノ・スカラ座、ペーザロ・ロッシーニ・フェスティバル、ローマ歌劇場、ボローニャ歌劇場、トリノ王立歌劇場、フィレンツェ歌劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭、マルセイユ・オペラ、モネ劇場、リヨン歌劇場、ワシントン・ナショナル・オペラ、メトロポリタン歌劇場など世界の主要歌劇場や音楽祭で活躍。フィレンツェ歌劇場管弦楽団、ドレスデン・シュターツカペレ、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ管弦楽団、マーラー・チェンバー・オーケストラ、ロンドン・フィルハーモニア管弦楽団、東京交響楽団、京都市交響楽団などオーケストラへの客演も多い。近年ではシアトル・オペラ『ファルスタッフ』が絶賛されたほか、ドレスデン・シュターツカペレ『セビリアの理髪師』『アンナ・ボレーナ』演奏会形式、ザクセン州立歌劇場新作『愛の妙薬』などを指揮。最近ではヴェローナ音楽祭とシアトル・オペラで『リゴレット』、メトロポリタン歌劇場『ノルマ』『ラ・ボエーム』『トスカ』、ドレスデンとダラスで『ラ・ボエーム』、サンフランシスコ・オペラ『トスカ』、フェニーチェ歌劇場『トスカ』『椿姫』『ルチア』、パリ・シャンゼリゼ劇場『ノルマ』、ローマ歌劇場『シャモニーのリンダ』、パリ・オペラ座『ルチア』、シカゴ・リリック・オペラ『ノルマ』、バルセロナ・リセウ大劇場『リゴレット』などがある。新国立劇場には05年『マクベス』、08年『アイダ』、09年『オテロ』以来の登場となる。



#### 【演出・衣裳】ヴァンサン・ブサール

Vincent BOUSSARD

1999年コメディ・フランセーズにて演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、スウェーデン王立歌劇場、ベルギー王立モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサンプロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『デイドとエネアス』、ヘンデル『テオドーラ』、シャルパンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァッツリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カプレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』『蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴルール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、リトアニア国立オペラ・バレエ『マノン』、ストラスブール・ライン国立オペラで『椿姫』、ザルツブルグ復活祭音楽祭『オテロ』、バルセロナ・リセウ大劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』、ザンクトガレン歌劇場『ローエングリン』などを演出。幾つかのプロダクションはテレビ放映やDVD化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している。



#### 【ヴィオレッタ】イリーナ・ルング

Irina LUNGU

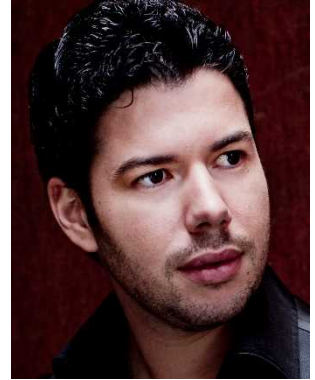
ロシア出身。スカラ座アカデミー在籍中にムーティによりスカラ座 2003/04 シーズンオープニング『モイーズとファラオン』アナイ役に抜擢され、同劇場で『愛の妙薬』アディーナ、『マリア・ストゥアルダ』タイトルロールなどに出演。スカラ座での『椿姫』ヴィオレッタは07年にデビュー後、08年、13年にも出演。パルマ王立歌劇場、ローマ歌劇場、ヴェローナ音楽祭、トリノ王立歌劇場、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座などに、『椿姫』ヴィオレッタ、『愛の妙薬』アディーナ、『リゴレット』ジルダ、『カルメン』ミカエラ、『ラ・ボエーム』ムゼッタなどで出演。ヴィオレッタ役はウィーン国立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、マドリッド王立歌劇場など各地で出演している。15/16 シーズンはチューリヒ歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、パリ・オペラ座で『椿姫』ヴィオレッタ、『リゴレット』ジルダ、トリノ王立歌劇場とヴェローナ音楽祭で『カルメン』ミカエラ、バイエルン州立歌劇場『トゥーランドット』リユーなどに出演。16/17 シーズンはトリノ王立歌劇場、サン・カルロ歌劇場で『ラ・ボエーム』ミミ、ボローニャ歌劇場『リゴレット』ジルダ、ウィーン国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、ヴェローナ歌劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ、モデナ歌劇場ほかで『清教徒』エルヴィーラ、ボローニャ歌劇場『ルチア』タイトルロールなどに出演。新国立劇場初登場。



【アルフレード】アントニオ・ポーリ

Antonio POLI

イタリア・ヴィテルボ生まれ。ローマで研鑽を積む。2010年ハンス・ガボール・ベルヴェデーレ国際声楽コンクール第1位ほか、数々の国際コンクールで入賞歴を持つ注目のイタリア人若手テノールの一人。ザクセン州立歌劇場、ザルツブルク音楽祭、英国ロイヤルオペラ、ローマ歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、マドリッド王立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、シカゴ・リリック・オペラ、バイエルン州立歌劇場などに『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・オッターヴィオ』『愛の妙薬』ネモリーノ、『オテロ』カッシオなどで次々と出演。ミラノ・スカラ座及びローマ歌劇場来日公演にも出演している。15/16シーズンは、モネ劇場とボローニャ歌劇場『愛の妙薬』ネモリーノ、フェニーチェ歌劇場『魔笛』タミーノ、ナポリ・サンカルロ歌劇場『ファルスタッフ』フェントン、ローマ歌劇場『椿姫』アルフレードなどに出演。16/17シーズンはベルリン州立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・オッターヴィオ』、ベルリン・ドイツ・オペラ、パレルモ・マッシモ劇場で『椿姫』アルフレード、ライプツィヒ歌劇場『ルチア』エドガルド、ローマ歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フェルランド、ザクセン州立歌劇場『オテロ』カッシオ、トリノ王立歌劇場『魔笛』タミーノなどに出演。新国立劇場には15年『椿姫』に続いての登場。



【ジェルモン】レヴェンテ・モルナール

Levente MOLNÁR

ルーマニア・トランシルヴァニア出身。2006年ハンガリー国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールでデビュー後、同劇場で『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『エウゲニ・オネーギン』タイトルロールなどに出演。09/10シーズンより14年までバイエルン州立歌劇場専属歌手として『セビリアの理髪師』フィガロ、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、『ファルスタッフ』フォード、『蝶々夫人』シャープレスなどに出演。欧米主要劇場に次々とデビューし、英国ロイヤルオペラ『セビリアの理髪師』フィガロと『ドン・ジョヴァンニ』マゼット、パリ・オペラ座『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、ウィーン国立歌劇場『セビリアの理髪師』フィガロと『愛の妙薬』ベルコーレ、メトロポリタン歌劇場『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、コペンハーゲン王立歌劇場『カルメン』エスカミーリョ、シュトゥットガルト歌劇場『パルジファル』アムフォルタス、ボルドー歌劇場『タンホイザー』ヴォルフラムなどに出演。16/17シーズンは、英国ロイヤルオペラ『マン・レスコー』レスコー、チューリヒ歌劇場『ルチア』エンリーコ、『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・ジョヴァンニ』、『セビリアの理髪師』フィガロなどに出演。新国立劇場では13年『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵に出演した。今回がジェルモンのロールデビューとなる。



平成29年度(第72回)文化庁芸術祭協賛公演  
 新国立劇場 開場20周年記念公演  
 新国立劇場 2017/2018 シーズンオペラ

ヴェルディ **椿 姫**  
 【全3幕<イタリア語上演/字幕付>】

【公演日程】 2017年11月16日(木)19:00/19日(日)14:00/23日(木・祝)14:00/  
 25日(土)14:00/28日(火)14:00

【会場】新国立劇場 オペラハウス

【チケット料金】 S:27,000円・A:21,600円・B:15,120円・C:8,640円・D:5,400円・Z:1,620円

指揮 .....	リッカルド・フリッツァ
Conductor	Riccardo FRIZZA
演出・衣裳 .....	ヴァンサン・ブサール
Production and Costume Design	Vincent BOUSSARD
美術 .....	ヴァンサン・ルメール
Set Design	Vincent LEMAIRE
照明 .....	グイド・レヴィ
Lighting Design	Guido LEVI
ヴィオレッタ .....	イリーナ・ルング
Violetta Valéry	Irina LUNGU
アルフレード .....	アントニオ・ポーリ
Alfredo Germont	Antonio POLI
ジェルモン .....	レヴェンテ・モルナール
Giorgio Germont	Levente MOLNÁR
フローラ .....	小林由佳
Flora Bervoix	KOBAYASHI Yuka
ガストン子爵 .....	小原啓楼
Visconte Gastone	OHARA Keiroh
ドゥフォーール男爵 .....	須藤慎吾
Barone Douphol	SUDO Shingo
ドビニー侯爵 .....	北川辰彦
Marchese D'Obigny	KITAGAWA Tatsuhiko
医師グランヴィル .....	鹿野由之
Dottor Grenvil	SHIKANO Yoshiyuki
アンニーナ .....	森山京子
Annina	MORIYAMA Kyoko
ジュゼッペ .....	大木太郎
Giuseppe	OKI Taro
使者 .....	佐藤勝司
Commissionario	SATO Shoji
フローラの召使い .....	山下友輔
Domestico di Flora	YAMASHITA Yusuke
合唱指揮 .....	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱 .....	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽 .....	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra
芸術監督 .....	飯守泰次郎
Artistic Director	IIMORI Taijiro

予定上演時間:約2時間45分(休憩含む)

## 報道用資料

公演情報 WEB サイト <http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、東京文化会館チケットサービス ほか

\* **Z席 1,620 円**:Z席 42 席とZ(音のみ)席 4 席は、公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン・イレブン、サークル K・サンクスの端末操作により全席先着販売します。1人1枚。電話予約不可。

\* **当日学生割引(50%)**:公演当日残席がある場合、D席・Z席を除く全ての席種について 50%割引で販売。要学生証。電話予約不可。

\* 新国立劇場では、ジュニア割引(中学生以下 20%)、高齢者割引(65 歳以上 5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)など各種割引サービスをご用意しています。

\* 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

\* **U25 優待メンバーズ/U39 オペラ優待メンバーズ(25 歳以下/39 歳以下対象)**:青少年やふだん劇場に足を運ぶ機会の少ない世代の方々に舞台芸術に親しんでいただくため、お得な優待チケットの情報やゲネプロ見学のご案内などをメールでお届けする特別プランです。

・初日の 2 週間程度前に残席がある場合、新国立劇場の主催公演を下記の優待料金でご提供いたします。

U25 優待メンバーズ→オペラ公演S・A席が 5,000 円

U39 オペラ優待メンバーズ→オペラS・A席が 11,000 円(クラブ・ジ・アトレ会員は 10,000 円)

・U25 優待メンバーズの方を対象に、「青少年のためのオペラ・ゲネプロ見学会」を実施。公演直前のゲネプロ(最終舞台稽古)に抽選でご招待します。(対象演目は限定されます。)

新国立劇場 WEB サイト <http://www.nntt.jac.go.jp>

東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より 1 駅、初台駅直結。

**報道用資料**

★本演目はレパートリー(再演)公演です。過去の上演の記録写真を宣材としてご提供いたします。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】